

## 令和5年度第1回小牧市立図書館協議会 会議録

**日時** 令和5年8月10日(木) 午前10時～午前11時30分

**場所** まなび創造館 研修室2

**出席委員** 12名

会長 家禰 淳一 (愛知大学文学部人文社会学科教授)  
副会長 高木 花織 (小・中学校校長会図書担当・光ヶ丘小学校長)  
久守 由依 (小牧市小中学校PTA連絡協議会委員)  
坂廻辺 範子 (小牧市社会教育委員)  
林 由紀宏 (こまき市民文化財団事務局長)  
野田 江美子 (図書館ボランティア代表)  
鈴木 貴子 (指導保育士)  
長江 美津子 (名古屋経済大学人間生活科学部教育保育学科特任教授)  
梶田 光俊 (小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター所長)  
高島 昇 (公募委員)  
舟橋 精一 (公募委員)  
河村 直子 (公募委員)

**欠席委員** 1名

早川 渡 (愛知文教大学図書館長)

**事務局**

中川 宣芳 教育長  
伊藤 京子 教育部長  
矢本 博士 教育部次長  
岩本 淳 図書館長  
花里 千賀子 図書館図書係長  
赤尾 淳 図書館図書係主査

**傍聴者** 0名

**配布資料**

資料1 令和5年度図書館年報(令和4年度実績)  
資料2 利用統計  
資料3 小牧市図書館サービス計画(令和4年度取組結果・令和5年度事業計画)

## 会議内容

### ■開会

**赤尾主査** 定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回小牧市立図書館協議会を開催いたします。進行を務めます図書館の赤尾と申します。どうぞよろしくお願いいたします。この会議は小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議を公開しております。早川委員につきましては欠席のご連絡をいただいております。鈴木委員につきましては今のところお見えになっておりません。従いまして、現在の出席者は11名であり、委員の過半数の出席により会議が成立していることを報告いたします。なお、傍聴者は0名でございます。会の開催にあたり、中川教育長よりご挨拶を申し上げます。

※この時点で不在だった鈴木委員については間もなく到着し、12名の出席となった。

**中川教育長** 皆様おはようございます。皆様方におかれましては令和5年度第1回小牧市立図書館協議会の開催にあたりまして、ご多用の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様方におかれましては図書館運営に格別のご理解ご支援を賜っておりますこと重ねて御礼を申し上げます。さて、今年の5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられることとなりました。それに伴ってマスク着用を個人の判断にゆだねることとなり、実質的な社会生活については緩和が図られている状況でございます。図書館利用者の方を拝見しますと、マスクを着用していない方が徐々に増えておりまして、少しずつ平時を取り戻していると感じる次第です。図書館におきまして開催されます講座やイベントにつきましても、図書館が自ら開催するもの、市の各課の開催のもの、市民団体が行うもの、学校や各種企業等とのコラボレーションで行うものなど様々なものが開催されており、大変多くの方々にご参加をいただいていることをありがたく思う次第です。今後も引き続き感染対策に取り組みつつ、賑わいのある図書館としての使命を果たしてまいりたいと考えております。さて、本日の議題につきましては、お手元にお示しさせていただきましたように「令和4年度事業実績について」、「小牧市図書館サービス計画(令和5年度事業計画)について」でございます。ぜひ活発にご議論をいただくとともに忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**赤尾主査**      ありがとうございます。本日は新年度第1回の会議ですので、人事異動により変更のありました事務局職員よりご挨拶をさせていただきます。

**伊藤部長**      教育部長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

**矢本次長**      教育部次長の矢本と申します。昨年度までは図書館長としてお世話になっていました。今年もよろしくお願いいたします。

**岩本館長**      図書館長の岩本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

**赤尾主査**      続きまして委員の改選について報告いたします。伊藤委員、安藤委員、山田委員のご解任に伴い、高木委員、久守委員、梶田委員が新たに委員として任命されました。新委員の皆様より、自己紹介をお願いしたいと思います。

**高木委員**      小牧市立光ヶ丘小学校長の高木と申します。伊藤純子先生の後任として務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**久守委員**      安藤委員の代わりを務めさせていただきます。米野小から参りました久守と申します。よろしくお願いいたします。

**梶田委員**      4月からボランティアセンターでお世話になることになりました所長の梶田です。よろしくお願いいたします。

**赤尾主査**      ありがとうございます。続きまして次第2「議事」に入ります。これより進行を家禰会長にお願いいたします。

## ■ 議事

---

**家禰委員**      会長を務めさせていただきます家禰です。よろしくお願いいたします。愛知大学に勤めております。今年の3月に中央図書館が開館2周年を迎えました。新たな図書館として市民協働で立ち上げた図書館ですので愛知県内でも注目されておりますし、テレビ番組でも取り上げられて全国的にも有名になってきております。多様なサービス形態や施設を擁していますので、サービス面でも施設面でも優れた図書館であると

思っております。本日は「令和4年度の事業実績について」と「令和5年度事業計画について」をご審議いただきますのでどうぞよろしく願いいたします。それでは議事1について事務局より説明をお願いいたします。

**岩本館長** それでは議事「(1)副会長の選出について」、ご説明をさせていただきます。図書館協議会の副会長の選出にあたりましては図書館協議会条例第4条第1項に「協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める」と規定されています。伊藤委員ご解任による副会長の不在に伴い、委員の皆様の中から副会長を選出していただきたいと思います。

**家禰委員** ありがとうございます。副会長の選出について立候補やご推薦はありますでしょうか。

**林委員** 僭越ではございますが、私から提案をさせていただきたいと思います。これまで子どもの読書活動の推進及び学校との連携という観点から、副会長には小牧市の小・中学校校長会にて図書担当を務められた伊藤委員が就任されておりました。同じ視点から、校長会の図書担当を引き継がれた高木委員を選出してはいかがかと思いますが、どうでしょうか。

**家禰委員** ありがとうございます。いま、林委員より高木委員を副会長に推薦することのご提案をいただきました。ほかにご提案はございますでしょうか。

(発言なし)

無いようですので、林委員のご提案についてご賛同いただける方は拍手をお願いいたします。

(委員拍手)

ありがとうございます。高木委員お願いできますでしょうか。それでは副会長は高木委員に決定いたしました。

**高木委員** 微力ながら務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

**家禰委員** 副会長は前の席へご移動をお願いいたします。改めまして、高木副会長よりご挨拶を頂きます。よろしく願いいたします。

**高木委員** ちょうど昨日、一昨日と学校図書館研究大会に参加して参りました。先ほど林委員からもありました学校図書館との連携が大事だということで、この職を務めさせていただこうと思います。よろしく願いいたします。

**家禰委員** それでは議事(2)について事務局より説明をお願いいたします。

**花里係長** それでは議事「(2)令和4年度事業実績について」、ご説明させていただきます。資料1「令和5年度図書館年報(令和4年度実績)」をご覧ください。令和4年度における図書館で実施しました事業の内容や利用者統計、蔵書統計をはじめとする各種統計データ等を記載したものでございます。資料を事前配布させていただいておりますので細かな説明は省略させていただきますが、主な項目として、まず11ページをご覧ください。「(3)レファレンスサービス」について、中央図書館開館以降レファレンス件数も増加傾向にあり、調べ方ガイドとして子ども向けパスファインダーを4件、大人向けパスファインダーを4件作成いたしました。続いて12ページ中段、「イ」をご覧ください。図書館講座・催しについて、ボランティアの皆様のご協力により開催しましたおはなし会やクリスマス会などを示したもので、計296回、2,976名の参加がございました。13ページ、14ページ「(8)図書の展示(中央図書館)」をご覧ください。中央図書館の各フロアにおいて、こまき市民文化財団やれきしるこまき、愛知県図書館とのコラボレーション企画としての図書コーナーも設置させていただきました。また、隣接するえほん図書館と連携して子ども向けの読書クイズも開催いたしました。15ページ「(10)見学・実習等の受入」をご覧ください。市内小学生の図書館見学を受け入れた表になります。新型コロナウイルスの影響により2年生のときに見学ができなかった小木小学校3年生、小牧原小学校4年生の受入も行いました。続いて「イ 職業人体験・インターンシップ」について、誉高校1年生2名の受入を行い、絵本の読み聞かせ体験や図書コーナーを設置するなどの体験していただきました。続いて資料2をご覧ください。貸出利用者数と貸出点数について、施設別と世代別に示したものでございます。令和3年度は、開館準備として約3万点の図書を増冊したことや新図書館オープンの初年度であったため、利用者数・貸出点数が特に伸びております。令和4年度につきましても利用者・貸出点数ともに高い水準であると考えております。説明は以上です。

**家禰委員** ありがとうございます。それではただいまの事務局からの説明に対してご意見、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いいたします。まず、事前に早川委員からのご意見として預かっているものがありますので、そちらを代読させていただきます。

す。「(6)読書バリアフリーサービス」について、「多くの方に利用していただける取組みはともよいと思います。オンラインでも提供されているということですが、どのような方法で実施されているのでしょうか。また、どのような種類の書籍や資料を希望されているのでしょうか。」

**赤尾主査** オンラインでの対面読書サービスは、ZOOM または Google Meet といったオンライン会議サービスを利用して対面読書室と利用者の自宅をつなぎ、実施しています。資料としては読み物、たとえば小説・エッセイ・詩集などの希望が多く寄せられますが、絵本の希望もあります。絵本の場合、読み手は絵の部分も言葉にして伝えますので、利用者からは絵と文が同時に味わえるとしてご好評の声をいただいています。

**家禰委員** 他にご意見・ご質問はございますか。

**野田委員** 資料1の7ページについて質問です。「図書館の組織」という表があるんですが、一番下に図書係、施設運営係とありまして、その下にボランティアがおります。ボランティア活動を図書館の方々と連携しながら、いつも活動しているわけですが、新図書館になってからコロナ禍も挟みまして、うまい具合に職員と連携、情報共有ができていない印象がボランティア全体の中にあります。そのことに関して改善できる点、私たちボランティアが改善できることが何かあれば教えていただきたいと思います。

**花里係長** いつもボランティア活動ご協力いただき、ありがとうございます。連携ができていないんじゃないかと感じるのとことですが、確かにコロナがありまして、コロナ以前の時に開催していたボランティアさん同士の交流会ができなくなりまして、中断していたことは事実でございます。ボランティア同士の交流を深めていただきたい、そして図書館と一緒に盛上げていただきたいという思いから、今年度についてはボランティアの交流会を実施したいと考えております。そのために7月に各ボランティアの代表者にお集まりいただいて、話し合いをいただきました。今年度はぜひ交流会を開催したいと考えております。

**野田委員** ありがとうございます。もう1点よろしいですか。直接私たちとやり取りするのは児童サービスの方々なのですが、とても忙しそうだなという印象があって、なかなかそれぞれの各サークルの定例会に出席いただくことが、新年度になってからできていないと思います。今後どのような形になっていくのか知りたいです。

**花里係長** 児童サービスを担当している職員が忙しそうということでご心配いただき、ありが

とうございます。のちほど説明させていただきますが、小中学校向けに本を選んでお届けする配本サービスの貸出件数が6万点を超えまして、大変好評いただいております。その関係で児童サービスの業務が忙しくなっていることは感じられているとおりでございます。とはいえ、中央図書館だけではなくえほん図書館の職員5名も児童サービスの担当になりますので、中央図書館の職員と合わせて7名でボランティアさんをサポートしていきたいと思っております。定例会にも出席させていただいて、情報共有や協力できることをしていきたいと思っております。

**家禰委員**      ありがとうございます。ほかにご意見等ございますでしょうか。

**舟橋委員**      今回の資料は新しい情報もあって参考になりました。入館した方が必ず本を借りるわけではないと思います。ここの図書館を利用した人が何名でどういう目的で図書館を利用したのか、イベントの参加やカフェだけの利用などもあると思いますが、そういったものを分類した統計はないでしょうか。

**花里係長**      まず、中央図書館の来館者数が令和4年度が74万928名、令和3年度は68万8899人でした。開館初年度だった令和3年度よりも令和4年度のほうが増加しているということになります。依然として貸出も高い水準ではありますが、一方で中央図書館で行っているタブレット端末の貸出が令和3年度に比べて増えております。貸出を目的として来られる方だけではなく居心地の良い空間でお気に入りの席を見つけ、タブレット端末等を使いながらゆったり過ごしていただけているものと考えております。また、おはなし会や図書館講座等の催しの参加者も増えております。資料3でもご説明いたしますが、中央図書館だけでなく東部市民センターでのおはなし会を含めた令和4年度の講座・催しの参加総人数が6,011名と前年度に比べて増えていることから、にぎわいが創出されていると感じております。

**舟橋委員**      ありがとうございます。そうするとイベントの参加者なども入館者数に含まれているということですね。

**花里係長**      はい。

**家禰委員**      来館者数につきましては、図書館の運営の評価で重要な数値となっております。貸出冊数よりも来館者数が非常に重要な数値になります。恐らく愛知県内の図書館でも統計的に出てきていると思うのですが、貸出冊数は微妙に下がっているところが

あります。安城市図書館に行って話を伺ったところによると、そちらでも貸出冊数が少し減っていて、来館者数は伸びているというような状況になっています。

**河村委員** 今の話に関連して、資料3の17ページを見ますと、利用者数とか貸出冊数は会長が言われたように少し下がっていますが、レファレンス件数や行事参加者数、来館者数が増加しているということで、加えて1ページの利用者登録者数の増加を見ると、中央図書館が貸出中心ではなく滞在型図書館になってきているのではないかと思います。もう1点、資料2の2ページ、世代別貸出利用者数の下の表で幼児が増加しています。これは何が主な原因と考えていらっしゃいますか。

**花里係長** 0歳から未就学児を幼児というふうに区分けしておりまして、そういった幼い子どもたちは一人では図書館に来られないので保護者の方とともに図書館に来館します。そして保護者の方がお子様のカードで絵本などを借りられることで、「幼児」の貸出が増えていると考えます。

**河村委員** これからの利用を考えると、幼児や子どもに対するサービスが大事だと思います。先ほどおっしゃられた施設配本サービスの状況を見ると、子どもの読書活動の推進に対する取組みの成果が出ているんじゃないかと思います。

**高島委員** 私も来館者数についてお聞きします。新型コロナウイルス感染症が5類に分類されるようになって、マスクもしなくなると外出がしやすくなって図書館の来館者数も増えるようになったのかなと思います。まだ期間が短いのでデータはないかもしれませんが、5類に分類されてから来館者数はどのように推移しているか教えていただきたいです。

**岩本館長** 申し訳ございません。お察しのとおり月別での最新の資料が手元にないので具体的な数字はお答えできないのですが、感覚的なところでお話をさせていただきますと、やはり5類になって人の動きが活発になってきていると感じております。そんな中、図書館に足を運んでいただける方も増えているというふうに感じております。親御さんや、おじい様おばあ様がお子さん連れでいらっしゃることや、中学生や高校生の利用も増えております。それが5類になったからなのか、図書館の認知度が上がってきたからなのかはお尋ねしたわけではないので分かりませんが、たくさんの方にご利用いただいていることは間違いのないのかなと感じております。

**家禰委員**      ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。

**坂廻辺委員**    私は中学校で図書ボランティアをやっております。資料1の16ページ「(2)学校図書館活動支援業務」に書いてあるとおり、図書館職員の方が週に1回学校に巡回してくださっています。私たち図書ボランティアもその職員の勤務日に合わせて活動しているので連携が取れてすごく助かっていて、今後も続けていただきたいと思っております。その下の「(3)施設配本サービス」について、市内の保育園、幼稚園また児童クラブ、福祉施設については想像できるのですが、小・中学校には図書室があって、小牧市は大変ほんとに恵まれるので新刊図書が入ってきてすごく助かっているのですが、この小中学校へ本をお届けするサービスを私は知らなかったもので、ご説明いただければと思います。

**花里係長**      配本サービスは団体貸出の一つとして、依頼のあった小学校、中学校、幼稚園や保育園、児童クラブ、児童館等にサービスを提供しています。1回のご利用について最大200冊を2か月間、まとめて貸出するサービスになります。先生方のご依頼に応じて児童サービスの職員が本を選びまして、貸出処理したものを公用車で委託のドライバースタッフが各施設にお届けするというサービスになります。

**坂廻辺委員**    依頼があったことに対してのサービスということなんですね。

**花里係長**      はい。小学校につきましては授業ごとに必要な本が異なってまいりますので、その都度先生から「環境に関する本を30冊くらい揃えてほしい」とか「福祉サービスに関連するような本を揃えてほしい」とか、そうした依頼があります。それを受けて職員が該当する本を選んで、スタッフがお届けするものです。また、幼稚園や保育園につきましては「良い絵本を選んでほしい」というご依頼に対して、年間計画を組みまして2か月ごとに季節に応じて本を入れ替えるという形でも配本サービスを行っております。

**高木委員**      配本サービス、大変助かっております。小牧は学校にも図書購入費をたくさんいただいているので新しい本がどんどん入っているのですが、たとえば宮沢賢治の作品を学習した後にみんなに宮沢賢治の本を読ませたい。それでビブリオバトルしたいというときや、調べ活動で全員同じテーマの本が必要というときなどに配本サービスを依頼します。また、学校によっては特別支援学級や日本語指導を受けている子ども

たちにも配本サービスを活用させていただいています。

**鈴木委員** 配本サービスは保育園でもすごく活用していて、年度初めの時に園長会という集まりがあるのですが、そこで丁寧に説明させていただいて全園で利用しています。園の希望にも合わせてくれるし、季節に合ったものを図書館の方が選んで持ってきてくださるのがすごく良くて、どうしても子どもが扱うので破れてしまったり、いろいろあるんですけども、「そのまま返していただければ良い」ということで対応してくださるので、保育園にとっても良いサービスで活用させていただいております。先ほど忙しくて大変だって話もあったんですけど、ほんとにありがたいと思っています。

**長江委員** 15ページの「(10)見学・実習等の受入」について、ここには小学生しか書かれていませんが、以前ですと近隣の幼稚園や保育園の子どもたちが図書館を見学に来て、図書館の中を静かに見て回ったり、絵本を取り出して触れてみたりということがありました。そういうことがコロナの関係なのか、それとも新しい図書館になって敷居が高くなったのか見なくなったと感じるんですけども、幼児期から地域の資源を活かしたり、直接手に取って絵本に触れるということも必要で貴重な体験だと思いますので、騒がしくなるかもしれませんが、見学を呼びかけていただけるとありがたいと思います。

**花里係長** ありがとうございます。こちらには書かれていませんが、コロナが5類になってから少しずつ保育士の先生方が園児さんを連れてお散歩のような形でえほん図書館をまわってる姿を見かけるようになりました。また、中央図書館でも園児さんが先生に連れられて小グループで来られている姿も拝見します。自由にご見学いただいているので統計としては取っていないのですが、足は戻ってきていると感じています。

**家禰委員** ほかにご意見ありませんか。

**梶田委員** 資料1の11ページ「読書バリアフリーサービス」のことで利用実績を教えてください。録音図書、点字図書、デジタル録音図書等の貸出等がどれくらい利用されているのか。または利用者から「こんな図書があったらいいな」といった声はどのようになっているかを教えていただきたいです。

**赤尾主査** まず、郵送貸出の実績をお話ししたいと思います。後ほどご説明する資料3の7ページ「障害者サービス」をご覧ください。郵送貸出には2種類の類型がありま

す。一つは重度の身体障害者の方に対して図書を郵送で貸出するものです。こちらは令和4年度49件の貸出を行いました。もう一つの類型が点字資料や音訳資料を主に視覚障害の方、その他ご自身で読書をすることが難しい方に郵送するもので、14件の貸出を行いました。今は国立国会図書館のホームページやサピエという視覚障害者の方向けの情報をまとめたポータルサイトに全国の図書館が作った点字データや録音データがアップロードされていますので、そちらから個人でダウンロードされている方もいらっしゃると思います。図書館では件数を把握しておりませんが、そういう利用もあると思います。求められる資料につきましては、やはり小説が多いと感じております。特に点訳に関してはボランティアさんが新刊の小説を積極的にお作りになっています。音訳については依頼を受けてから作るという方法をボランティアさんが採られていますので、こちらについては詩集、小説、実用書といった、その方のお好みに合わせて作られているところです。

**家禰委員** ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか、意見が出尽くしたようですので、議事(2)については以上で終了といたします。次に議事(3)について事務局より説明を求めます。

**花里係長** それでは、議事(3)「小牧市図書館サービス計画」についてご説明させていただきます。資料3「小牧市図書館サービス計画(令和4年度取組結果・令和5年度事業計画)」の2・3ページをご覧ください。2ページ最下段、予約サービスについて、予約件数は増加しております。3ページの最上段、購入希望サービスについては少し減少しております。予約と購入希望の関係なんですけれども、利用者の皆様からこういった本を買ってほしいということであがってくるのが購入希望。すでに図書館に蔵書しているものについて予約するのが予約サービスです。予約が増えて購入希望が減っているという関係なんですけれども、司書の資格を持った職員が多く利用が見込まれる資料や人気が出そうな資料を事前に情報収集しまして、先回りして選書会議を行っていることで、購入希望が減って予約の件数が増えていると考えております。4ページをご覧ください。レファレンスサービスについて、今年度の新規取組みとして、ホームページを介して利用者が自らレファレンス事例を検索し、関連本を予約できるシステムを導入することで、レファレンスサービスの拡充を図っていきたいと考えております。5ページ、最下段をご覧ください。こちらは中央図書館の開館に合わせて拡充しましたデータベースにつきまして、令和3年度末に子ども向けのデータベース「ポプラディアネット」のサービスが終了することに伴いまして、子ども向けのサービスがいったん図書館からなくなると

ということになっていたんですけれども、令和 6 年度に「ポプラディアネット」の後継サービスが提供開始されることに伴いまして、中央図書館 1 階児童エリアに子ども向けのデータベース閲覧用タブレットを設置するよう準備を進めたいと考えております。6 ページ、最下段をご覧ください。郷土資料のデジタル化につきまして、今年度は象山文庫と信長文庫から 30 タイトルをデジタル化しまして、こまき電子図書館にて公開していきたいと考えております。11 ページ、最上段をご覧ください。先ほどもご質問がありました配本サービスについて、令和 4 年度は貸出点数が 6 万点を超えました。今後も引き続き、子どもの読書活動推進のため、取組みを継続していきたいと考えております。続いてその下、小中学生にすすめるブックリストの活用について、令和 4 年度に学校の先生方で構成される「学校図書館教育研究会」において、当協議会の前副会長だった伊藤校長先生をリーダーとしてブックリストの改訂作業が進められ、令和 5 年 4 月より新しいブックリストへと更新されました。学校におきましてタブレット学習が進められる中、授業支援クラウドサービス「ロイロノート」版読書ノートを作成しまして、2 学期より各学校へ配信していきたいと考えております。16 ページ最上段をご覧ください。館内でインターネットが使用できるタブレットの貸出を行っており、この実績を見ていただきますと令和 3 年度の実績が 475 件、令和 4 年度につきましては 708 件ということで貸出が伸びています。こちらが館内でゆったり過ごしていただいている根拠の一つではないかと考えているところです。また、タブレットのほかに CD・DVD 視聴用ポータブル機器の貸出についても貸出件数が増加しており、利用者の皆様にとって居心地のよい図書館として利用されているのではないかと考えております。

**家禰委員**      ありがとうございます。それではただ今の事務局からの説明に対してご意見ご質問等がございましたら、ご発言お願いいたします。

**舟橋委員**      今説明にありました 11 ページと 13 ページの小中学校のブックリストについて、今年度作られるというロイロノート版読書ノートはどんなものでしょうか。もしサンプルがあれば見せてもらえればと思いました。私自身これを耳にするのが初めてで、メーカーのサイトなんかも見てみたのですが、指導者のトレーニングが必要かと思いました。現在市内の小中学校でこれを利用しているということなののでしょうか。そのあたりも含めてお聞きしたいと思います。

**赤尾主査**      読書ノートをタブレット学習で使えるような形にしようということがまずありまして、最初は PDF 化して載せる案ですとかいろいろ考えていたんですけれども、

学校司書からの情報提供でロイロノートというのが学校で今使われているとのことでしたので、それであれば生徒さんも先生方も使い慣れたものでいいのではないかとということで、読書ノートもロイロノート版を作ろうということになりました。どういうものかということ、簡単なパワーポイントのようなものを想像していただければ近いと思います。一つ一つのページがパワーポイントで言うところのスライドのようなものになっていまして、それをタブレットであればスワイプして次のページに行くというものです。そこにテキストボックスを配置して直接キーボードで文字を打つこともできますし、手書きで蛍光ペンでマークをすとかペンで自由に書くことができるという構造になっています。読書ノートでは本1冊につき1ページそのスライドのようなものを作りまして、ページをめくっていくと次の本、次の本というふうになっています。その中に手書きでレビューを書いたり、レーティングを決めたりできるようなイメージで作っています。

**舟橋委員** つまり生徒や児童と先生との間で即時に画面のやり取りできるという意味でしょうか。

**梶田委員** 昨年度まで学校に勤めていまして、ICTを長年担当しておりました。簡単に言いますと、ロイロノートは授業支援ツールで授業の中で子どもたちが考えたりするときにノートの代わりとなるデジタルノートを作れる。それをみんなで共有できるというツールです。コロナ禍の中で導入されたのもう3年以上使ってますので、子どもたちは自由に使えています。教員もストレスなく使えているような状況にあると思いますのでロイロノートの中に読書ノートのデータが入られるというのは非常に有効かなと感じております。当然自分で作ったものをみんなで共有できるボックスも出来上がっておりますので、これがクラス内だけでなく学校内、市全体というレベルの共有もできますので非常に可能性があると思います。プログラミング的に作りこんでいくこともできるので、利用が進んでいる先生はいろいろ試しています。

**家禰委員** ロイロノートで小学生に読書ノートのアンケートを取って集計することはできますか。

**梶田委員** 取れます。アンケート機能があるので一斉に取ることができます。ただ、グーグルやマイクロソフトが提供しているフォーム機能と比べると非常に簡易的ですので、アンケートをなんでもかんでもロイロノートで取るのはやめたほうが良いと思

ます。

**久守委員** 読書ノートに先生や図書館の司書の方がおすすめ本の題名とかを書いて下さって、それを読んだ子どもたちが感想とかを書いて話し合うといったイメージなんではないでしょうか。

**花里係長** 学校の先生で構成される学校図書館教育研究会が「教育の観点から子どもたちに読んでほしい本」として選んだ本をリスト化したものがブックリストです。ただ、ブックリストだけではなかなか子どもたちの興味関心が得られないということで、本の表紙画像や先生たちのおすすめコメントを掲載するとともに、子どもたちが読んだ素直な感想を書き残せるようにと作られたのが読書ノートです。紙媒体の読書ノートを小中学生の子どもたちに配ったことがあるのですが、特に低学年ですと失くしてしまったり破れてしまったりということがあるので何か有効な手法はないだろうかということを検討しまして、その中でロイロノートというものを授業で使っていると伺いましたので、子どもたちに読書の楽しさを知っていただきたいということで作ることとなりました。一冊につきノート1ページになっていて、そこに本の表紙画像があったりとか自由に書き込めるスペースがあったり、星マークに色を塗ることができたり、そういうお楽しみ要素もあるのがロイロノート版の読書ノートです。

**家禰委員** ありがとうございます。ほかにご意見ご質問等ございましたら。

**林委員** 昨年の会議でも質問があったかと思いますが、個人ブース、サイレントルームには予約システムを導入している。そういった中で開館と同時に人が並ぶという話があったと思います。それに対する改善や取組みがあれば教えていただきたいと思います。

**花里係長** 当館ではサイレントルームを4つ備えており、令和4年度はサイレントルーム3の利用が非常に多くありました。サイレントルーム1が2階にありまして、座席数が15席、19歳以下の方が利用できる部屋です。3階には個人ブースとサイレントルーム2と3がありまして、このうちサイレントルーム3は20歳以上の方が利用できます。また、4階にはサイレントルーム4があるほか、研究個室、データベース席などもございます。市内の利用者については7日前から、市外の方は3日前からウェブで予約できます。予約をしていない方についても、当日席が空いていればその場で利用申込み

ができます。そのほか予約のいらない自由にご利用いただける席も豊富にご用意しておりますが、テスト期間になりますと朝早くから並んでいただいております、なかなか席がないということもあります。そういうときは、ラピオの学習室やフリースペースなど、図書館だけでなく駅前全体として学習ができるような場所をご案内するなど、連携を図りながらご利用いただくという対応策をとらせていただいております。

**家禰委員** 先ほどの議事と関係するんですが、図書館の利用目的についてはアンケート調査を取られたら良いと思います。毎年それを積み重ねていくと経年変化でどのような目的で利用しているのかも分かります。また、目的だけでなく様々なアンケートを取られると良いと思います。グーグルフォームで簡単にアンケートが取れたり集計できたりしますので、そういった方法を取り入れられたらと思いました。ほかにご意見よろしいでしょうか。意見が出尽くしたようですので、議事(3)については以上で終了といたします。これにて本日の議事はすべて終了いたしました。非常に忌憚のないご意見、様々なご意見いただきましてありがとうございます。これをもとに事務局の方でご検討いただく部分もあろうかと思っておりますのでよろしく願いいたします。それでは進行を事務局にお返しいたします。

## ■閉会

---

**赤尾主査** ありがとうございます。事務局より 2 点、事務連絡を申し上げます。1 点目です。本日の会議録を事務局で作成いたします。後日皆様へ内容確認のメールをお送りいたしますので、ご確認の上、修正点等ありましたらご連絡をお願いいたします。2 点目、令和 5 年度第 2 回の図書館協議会の開催時期としましては、令和 6 年 2 月頃を予定しております。どうぞよろしく願いいたします。これをもちまして、令和 5 年度第 1 回小牧市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございます。